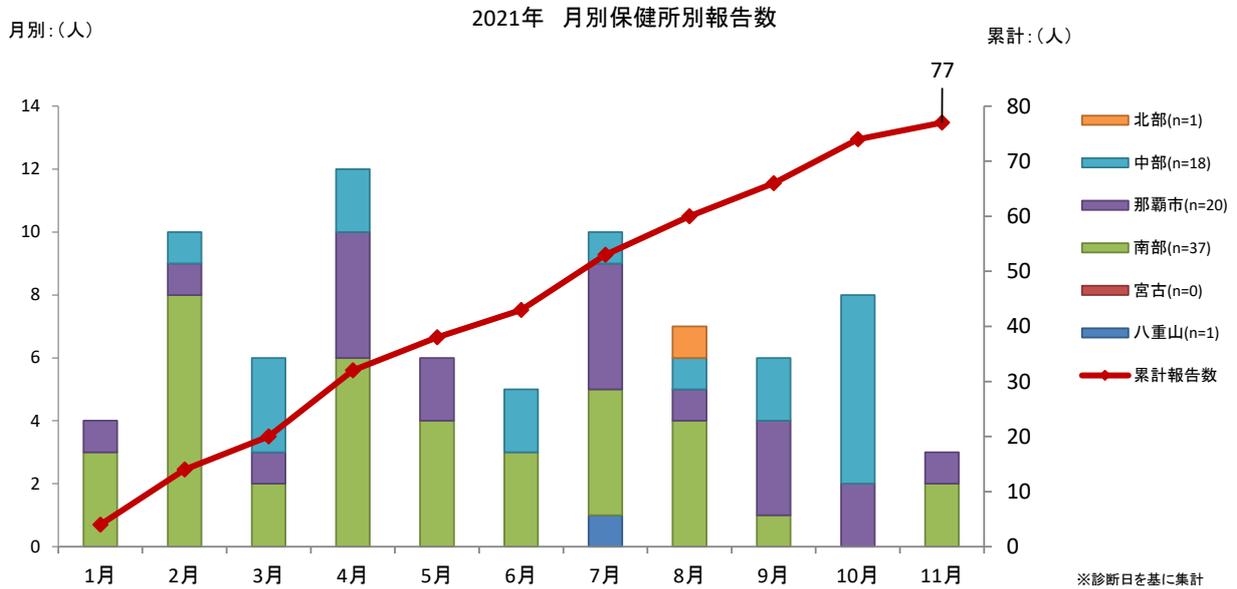


梅毒の発生動向【沖縄県：2021年】

沖縄県感染症情報センター（沖縄県衛生環境研究所）

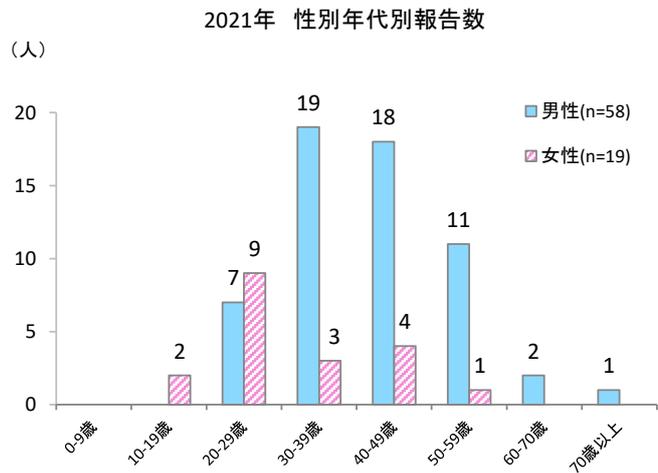
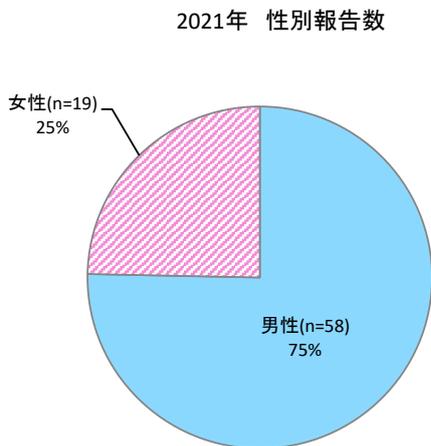
(1) 月別保健所別報告数

- ・2021年は第46週現在、77人の報告があり、感染症法による全数報告が義務づけられた1999年以降、過去最高となっています。
- ・保健所別届出受理数の内訳は、南部が37人と最も多く、次いで、那覇市が20人、中部が18人と八重山が各1人となっています。



(2) 性別年代別報告数

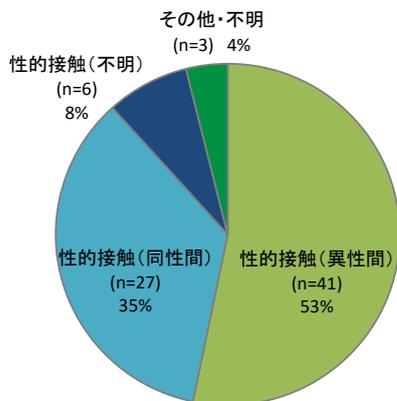
- ・男性が75%と多くを占めています。
- ・男性は30～40代、女性は20代での報告が多く見られます。



(3) 感染経路別報告数

- ・感染経路の約95%が性的接触です。
- ・性的接触のうち、異性間は41人(53%)、同性間は27人(35%)となっています。

2021年 感染経路別報告数

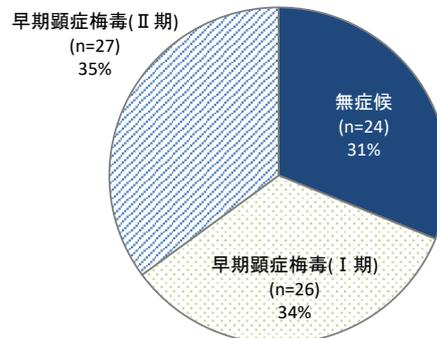


※両性間の性的接触は性的接触(同性間)に含める

(4) 症状別報告数

- ・早期顕症梅毒(Ⅰ期)と早期顕症梅毒(Ⅱ期)で、全体の約70%を占めています。
- ・先天性梅毒、晩期顕症梅毒の報告はありません。

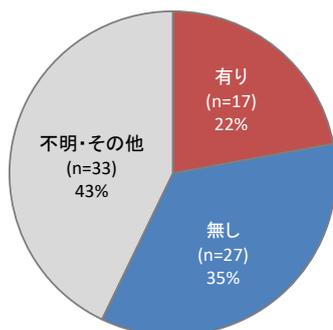
2021年 病型別報告数



(5) HIV感染症との合併

- ・梅毒感染の報告者77名のうち、17人(22%)がHIV感染症と合併(重複感染)しているとの報告があります。

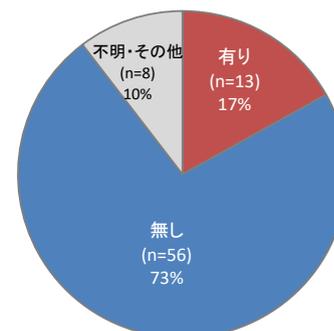
2021年 HIV感染症との合併



(6) 過去の治療歴

- ・梅毒感染の報告者77名のうち、過去の治療歴があるのは13人(17%)です。

2021年 過去の治療歴



(7) 妊娠の有無

- ・女性の梅毒感染報告者19名のうち、5人(26%)が妊娠しているとの報告があります。

2021年 妊娠の有無

